







公園などの公共施設や観光地で、ごみ箱を置かない、あるいは撤去する動きが広がっています。一方で、外国からの観光客も増えていて、ごみのポイ捨てやトイレの使い方など、文化の違いに起因するいろいろな問題も耳に入ってきます。そんなとき、朝日新聞の投書欄に「日本のごみ箱 もっと増やして」という女子大生からの投書が載りました。その反響が大きかったので、今回、このテーマを基に、ごみ問題に興味を持っている循（じゅん）、環（たまき）、源（げん）の3人に話し合ってもらいました。循君は、旅好きで、自分もよく旅行をするので、観光地にごみ箱を設置するのは便利でいいと思っています。環さんは、エコロジカルな生活を大事にしている、どちらかといえばごみ箱の設置に対して否定的です。源君は、環境問題に詳しく、話し合いをリードしていく立場で話は進んでいきます。この3名の会話からごみ箱を取り巻くジレンマについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。


 少し前の話になるけど、新聞の投書欄に「日本のごみ箱 もっと増やして」という学生さんの意見が載っていたね<sup>1)</sup>。


 ああ、あれね。興味深く読んだけど、日本では街にごみ箱がない。「ごみは持ち帰ろう」という看板などがあるが、ポイ捨てごみが多い。

- ・米国ではごみ箱が多く、ごみ箱も清潔にされていた。
  - ・ごみ箱が多く設置されている国から日本に来た人は戸惑うだろう。
  - ・ごみ処理は人々のモラルに任せるという姿勢では限界がある。より多くのごみ箱を設置して欲しい。
- というような主旨だったわ。

 けっこう反響が大きくて、賛否両論いろいろな意見が寄せられたそうだね。

 そうそう、それで改めて投書意見が列挙されたんだよ<sup>2)</sup>。そこでは賛成意見が1件で、反対意見が3件だった。

 あら、単純に賛成／反対とは括れないと思うわ。「自分で始末するのがクール」「観光地や公園には設置して」「設置には費用 完全撤去望む」「環境守るために持ち帰ろう」とのタイトルの投書が並んでいたけど、いずれも視点が違うから議論はあまり噛み合っていなかったし、どれもそれなりにもっともな意見だったわ。

 そもそも投書欄なんて文字数も限られているから言いたいことも充分に書けないし、お互いに顔も見えないからきちんとした議論にもならない。まあ、新聞社の意図としては、幅広い視点を提示してみようというところだろうね。



○ ごみ箱があると便利

- ・ごみ箱の設置はおもてなしの一環で、当然用意すべきサービスだ。特に観光地ならなおさら。
- ・ごみを持ち歩くのは大変だ。持ち帰れというのは無理がある。
- ・ごみ箱があることで、ポイ捨ての防止に繋がる。

○ 便利よりもエコ

- ・ごみを持ち帰るのは良い慣習だ。むしろ積極的にアピールして、持ち帰ってもらいたい。
- ・ごみ箱があることで、ごみを捨てる気になってしまう。ごみ箱がごみを呼んでしまう。
- ・費用・エネルギーがかかるのだから、ごみは自分で始末すべきだ。
- ・環境を守るためにもごみを出さないようにしましょう。

循(じゆん)

環(たまき)

源(げん)

しかし、実際のところ、観光地の  
ごみ箱は設置するべきか、撤去す  
べきか、どうなんだろう。

すぐにどちらか選ぶのは無理じゃ  
ない？

では、それは承知の上で、両者の  
視点を整理してみようか。投書の  
意見も踏まえてザクッとまとめると、こ  
んな感じかな(上記イラスト)。

では、「ごみ箱があると便利」の意見  
をみてみよう。まずは、ごみ箱の設置は、  
おもてなしというか、観光地が備えてお  
くべきサービスだという意見だね。

観光地ならトイレとかごみ箱を整備  
しておくのが、当然のサービスだろ  
う。トイレがきれいかどうか、先進都  
市かどうかのパロメータ、という言い方  
がされることもあるよね。北京では、オ  
リンピックを契機に、市内のトイレがと

てもきれいになったという話もあるし。

まあ確かに、トイレとかごみ箱と  
か、不浄なところに力を入れるか  
どうか、都市のレベルを表している側  
面はあるかもね。良い会社かどうかを判  
断するにはトイレを見よ、ともいうし。


そうそう、僕はトイレが近いから、  
トイレがなくて困った経験が多い  
よ。トイレがあるというのは究極かつ最  
低限のおもてなしだと思うね。


まあそうなんだが、トイレとごみの  
問題は切り分けたほうがいいので  
は？トイレは生理的な問題だから我慢す  
ることはできないけど、ごみは必ずしも  
出るとは限らないよ。


そうね、ではごみの問題に特化し  
て進めてみましょう。

そりゃ、やっぱり観光地にはごみ  
箱はたくさん設置すべきでしょ。

ごみ箱があるほうが便利だし、何よりポイ捨ての防止になるよ。ごみを捨てたいというニーズはあるだろうから、サービスとしてごみ箱を設置するのが、おもてなしの精神ではないの？ごみ箱が設置してあってこそ、ああ、細かいところに気が利くなあ、と。

 便利か不便かといえば、それは、ごみ箱がある方が便利だと思うわ。でも、大切なのは便利さだけじゃない、ということでしょう。

 そもそも海外では、ごみ箱がたくさんある地域に育った人も多いからさ。そんな人たちにとっては、あるのが当たり前になっているから、ごみ箱がないと不便を感じて困るだろう。日本が観光国家を目指すなら、ごみ箱をもっと設置すべきだよ。

 うん、確かに米国やオランダの公園では、ごみ箱が多くて驚いたことがある。数歩あるいたら、次のごみ箱があるほどで。でも、それぐらいの頻度でごみ箱を設置しておかないと、ポイ捨てだらけになってしまうということかなと、僕は受け取ったんだけどね。





 そもそも公園などでごみ箱が撤去されるようになったのは、テロ対策という物騒な理由もあるけど、家庭ごみを持ち込むような不届き者が増えているからでしょう。そういえば、道後温泉本館にあるごみ箱にまで、「家庭ごみの持ち込み禁止」と書かれていてビックリしたわ（写真1）。こんな当たり前のことを書かなきゃいけないなんて、日本人のモラルはどうなってしまったのかと思ったわ。




写真1 道後温泉本館のごみ箱


 公共のごみ箱に家庭ごみが持ち込まれるようになったきっかけの一つとして、家庭ごみの有料化があるだろうね。家電リサイクル法の施行直後に不法投棄が増加して社会問題化したように、物を捨てるのにお金を払いたくない、という思いはまだ強くないかな。捨てるのにお金が掛かるのが当たり前と思える社会になるのは、なかなか大変なんだろうね。

 公共のごみ箱に家庭ごみを捨てるというのは、もちろん論外なんだけど、でも観光地でごみ箱がごみで溢れているのをよく見かけるわよね。あれなんかはせつかくの景観を台無しにしている、本当にかっかり。ごみ箱がごみを呼んでいるような気がするわ。やはりごみ箱はないほうがいいんじゃない。


 うんうん、観光地でごみ箱が溢れている様子はたしかに興醒めだよ。でも、そもそも観光地で、そんなにごみが出るのかな。


 いやいや、観光地なんかでは、いろいろ飲み物や食べ物売られているでしょ。容器包装のような不要な


物を付けて売っておきながら、不要になったらそれらを引き取らないなどというのは、ひどいと思うがね。


 うん、そこは一つの論点だ。そのげんごみは、どこからやって来たのか。大きく分けて、観光客が持ち込んだ場合と、買ったものに付いてくる場合があるよね……。

この問題は切り分けるべきではないかな。観光地でも公園でも、そこで売られた物は、売ったお店が容器包装をごみとして引き取らないといけない。売った以上、それに伴ってかかるごみ処理も責任を負うべきだろう。それはお店にごみ箱を設置する、ということではないのでは？


 そうだね。ごみ箱を設置するかどうじゅんかはともかく、売った人が責任をもって回収・処理する仕組みを考える必要はあるだろうね。


 それはわかるけど、ついでに他のたまきごみも捨ててしまおう……というケースもありそうよ。となるとごみ処理費用がすごく高くなるのでは。


 費用のことは、また一つ別の論点げんだろう。場所によって価格が変わるのは当然。新幹線ホームでは余所で買うより飲料が高いように、高山や離島など、物を運ぶのに多くのコスト、エネルギーがかかるところなら、価格が高いのは当然。で、そういう所では、ごみ処理費用も高くなって当たり前。ごみ処理費用も含めた価格にすればよい。


 ええそうね。そもそもごみ処理にたまき多額の費用がかかる、という認識が一般の人にはあまりないわよね。そ


こはもう少し理解してもらう必要があると思うわ。


 では、観光客がよそから持ち込んげんだごみはどうだろう。おやつやジュースを持ち込むことはあるだろうけど、その容器などがごみになるよね。

 それはやっぱり持って帰ってもらたまきのうのが基本でしょうね。

 教科書的にはそれが正しいというじゅんのはわからなくもないけれど、実際問題、ごみを持ち帰るのは面倒くさいよね。観光客に優しい観光地とはとてもいえないよ。

 でも、缶ジュースを持ち込むのでたまきはなくて、水筒を持って観光に行けば、当然、持って帰ってくるのでしょうか？ごみだと思うから持ち帰りたくないだけで、持ち帰ること自体はそんなに大変な手間ではないんじゃないの？

 なるほど一理ある。とはいっても、じゅん実際問題、ごみを持ち帰ることを前提とせずに出かけていったら、持ち帰れ、といわれても困ってしまうこともあるよ。特に食べ物や飲み物が付いていると、荷物が汚れたりしそうだし<sup>3)</sup>。何か良い方法はないかな。

 本来は、ごみを持ち帰ることを前提げんに、ごみ袋などを持っていくのがマナーなんだけど、持ってきていない人に対しては、ごみ袋を配ってもいいよね。以前に遊びに行った黒部峡谷では、ごみ持ち帰り袋を配っていたよ(写真2)。ごみ箱を設置するよりコストは安いだろうし、まずは、やってみたらどうかな？


 ほ～、ごみ箱でなくてごみ袋を設置じゅんしておいて、持ち帰ってもらうとい



写真2 黒部渓谷のごみ持ち帰り袋

うことか。それもいいね。

でも、そもそも容器包装が付いているようなものはできる限り持ち込まないのが、理想なんでしょうね。3Rから2R（リサイクルする前に、元々ごみにしないという考え方）、というのは、観光地のごみ問題にもいえるわ。

ところで、持ち帰ってもらうことにしたとして、観光地からは持ち帰るとしても、日帰りでなければ、観光地の宿までしか持ち帰れないでしょう。となると、宿を中心とした地域で処理することになる。実際、観光地や温泉地では、観光客が持ち込むごみに由来する、事業系ごみが多いことが指摘されているよね<sup>4)</sup>。

う～ん、それはやっぱり地域で責任をもって処理しないと仕方がないのでは。だって観光を売りにしている訳だから。その分、ごみ処理費用もきちんと取る、というスタンスで。例えば温泉地には入湯税なんかがあるわけでしょ。だからごみ処理費用も、特別に取ってしまうとか。

だけど、ごみを持ち込む人と、持ち込まない人の差が出るのは不公平ね。

そうだな。となると、排出量に応じて料金を取るような形かな。ややこしいね。

うん、制度化するのは難しいかもしれないね。でも何らかの形で、ごみ処理費用を見えるようにして、観光客に認識してもらうようにしたいものだね。旅館などにも、地域としてのごみ処理コストに関するポスターを掲示したり、チラシを置いたり、というようなことはできるだろうし、先ほど言ったような、ごみ持ち帰り用のごみ袋を設置するんだったら、その袋には「このごみ袋一つを処理するのに〇〇円ほどかかります。」といった情報を載せておくのはどうかな。

ごみ箱を設置しないことの意味として、もう一步進んで「ごみを持ち帰りましょう」という慣習を、海外からの観光客にもアピールしよう、という意見もあるわ。せっかく日本に来てもらったのだから、循環型社会を目指す日本の良い習慣を身につけてもらいたいというメッセージにもなるわ。

少し押しつけがましい感じだな。しかもごみを持ち帰れ、というのでは反発も出るんじゃない？

でも旅行に行ったら、現地の習慣に合わせないといけないような例は枚挙に暇がないわよ。例えば、スーパーで買い物をしたらレジ袋が有料だったとか、ホテルやレストランでチップを払わないといけないとか。アジア諸国では、トイレでも使った紙は流さずに、ごみ箱に入れる所もあるでしょう。トイレが有

料の所だって多いし。郷に入れば郷に従え、よ。

う〜ん、それはそれで一理あるか  
もしれないけど……。

ごみ問題の困ったところは、ごみ箱がなければ、ごみをポイ捨てできてしまうところだよ。トイレがなくて困っても、じゃあ、その辺で用を足そう、ということにはなかなかならないだろうけど、ごみの場合は、その辺に捨ててしまえばいいのだから、始末が悪い。

確かにそれは大きな問題ね。実際に、ポイ捨てが多くて困って、結果的に1度撤去したごみ箱をまた設置した所もあるし……。

だから、郷に入れば郷に従え、ごみは持ち帰るのが正しいのです、と声高に叫んでも、ポイ捨てはなかなか変わらないということだね。やっぱりモラル頼みでは限界があるね。

う〜ん、そうかなあ。観光地でのごみのポイ捨ての罪なところは、捨てられているごみが観光地の価値を下げるところだよ。誰だって、ごみが捨てられた観光地を見たくはないだろうから、景観を守ってほしいという人も多いのではないかとは思うよ。

最近では、屋久島や富士山でも、ポイ捨ては減ってきているそうね<sup>56)</sup>。ポイ捨ては一気にはなくならないかもし

れないけれども、昔と比べれば良い方向に進んでいるわ。

そうそう、難しいように見えても、続けていけば変わっていくよ。僕が子供の頃なんか、お祭りのときにごみを分別するなんて考えられなかったけれど、今は分別用のごみ箱が置かれているのが当たり前になっている。祇園祭でリユース容器を使うというような試みもされている<sup>7)</sup>。とてつもない進歩だと思うよ。まだまだいろいろとできることはありそうだね。

確かに。今日は、色んな視点から問題をみることができたので、とても有意義だったわ。

うん、そうだね。最初から、反対派、賛成派って立場から考えるのはあんまり建設的じゃないよね。観光地をきれいなままにしておきたいという思いは一緒なんだからさ。

そこをスタートにして、もう一度、何ができるのかを考えて、根気よく話し合っていくことが大切だね。これを持続していくことが、目指していく循環型社会に近づくことになると思うよ。



#### 参考文献

- 1) 朝日新聞東京本社 2015年6月6日
- 2) 朝日新聞 2015年7月22日
- 3) 敷田麻実, 観光立国に向けた展望と課題, 廃棄物資源循環学会誌, 26巻3号, pp.171-182 (2015)
- 4) 副田俊吾, 観光地のごみ処理対策事例, 廃棄物資源循環学会誌, 26巻3号, pp.191-200 (2015)
- 5) 市川聡, 屋久島のエコツーリズムとごみ, 廃棄物資源循環学会誌, 26巻3号, pp.183-190 (2015)
- 6) 青木直子, 富士山のごみとトイレ, 廃棄物資源循環学会誌, 26巻3号, pp.207-214 (2015)
- 7) 太田航平, 祇園祭でごみゼロに挑戦!, 第23回環境自治体会議 いこま会議 資料集, p.106-107 (2015)